

第5回

# 富山親学フォーラム

—— 親が変われば子が変わる ——

今日の日本の子供たちに欠けているのは、他者ととも生きる力である。その根底には共感性・社会性の欠如、抑制力の欠如、問題解決能力の欠如という問題があるといわれています。親と子供を取り巻く状況という面から見れば、日本の親子関係は他国にくらべ希薄であるといえるデータがあります。子育てに対する楽しみ・生きがいへの母親の意識の変化が子供との心の絆に影響をおよぼしており、同時に子供の基本的生活習慣や食生活への親の配慮が乏しいことが子供の社会的不適応の誘因になっているとの指摘もあります。

言うまでもなく、家庭は価値観形成、文化継承の磁場であります。教育の原点は家庭にあり、親は人生最初の教師であり、家庭教育は子供の人格形成の基礎であることを、改めて自覚することが必要であると考えます。第5回富山親学フォーラムにおいては、子育ての意義や子育てに伴う喜びなどが実感できる親になるための学び、子供たちが社会的諸活動の中で体験するいろいろな悩みなどを乗り越えるための親・周囲の人々の役割などについていっしょに考えたいと思います。

入場無料

■日時

2006.10.7日  
13:30~16:30  
(受付開始 13:00から)

■会場

富山県民会館  
3階 304号室  
富山市新総曲輪4-18  
TEL076-432-3111

託児承ります

■定員 150名

15:00~16:30

ワークショップ

◇会場：7階 研修室

◇各クラス定員40名(先着順)



『少子化・子育て支援・保育政策と親の役割』

明星大学教授 高橋 史朗 氏

少子化の根因は結婚して子供を産み育てたいと思う若い女性が減っている点にあるのに、次世代育成支援対策推進法第三条（基本理念）に明記されている「子育ての意義についての理解が深められ、かつ、子育てに伴う喜びが実感されるように配慮」した「親になるための学習」が欠落している。マグドナルド化する効率的な社会に子育てを合わせて、コスト削減、効率優先の保育政策を推進するのではなく、親育ちを支援し、親の役割を果たせるような親支援のあり方について考えたい。



『子どものライフスキル(心の能力)を育てる』

埼玉県川口市立十二月田中学校校長 並木 茂夫 氏

コミュニケーションや感情のコントロールなど、日常で体験する人間関係の悩みやトラブルなどを乗り越えるための様々なスキルを具体的に教え、自己肯定感・自尊感情を育むライフスキル教育。日本で初めて全校規模でライフスキル教育を実践した埼玉県川口市立十二月田中学校の並木校長より実践内容を紹介。また、実際教室で行われている授業を体験できる、模擬授業（コミュニケーションスキル、意思決定スキル）を予定。

13:40~14:30

基調講演

◇会場：3階

304号室

『親学の基礎・基本』

明星大学教授 高橋 史朗 氏

14:30~14:50

ワークショップのご紹介

◇会場：3階 304号室



『親子で取り組む子の悩み』

富山福祉短期大学学長 松縄 規 氏

親として子供と一緒に取り組んできた子供の様々な悩みとそれらを解決してきた経験の幾つかを、子の幼少期から社会人となった現在も含めて述べる。大学生や大学院生等の教育・研究指導してきた中での同様な経験についても取り上げる。友人関係、学習、進学・就職、職場の人間関係、など。これらを基礎に、親として教師として良くやれた点、不十分だった点についても触れる。更にこれまでの取り組みを基盤に、親としての考え、そして行動する場合の考え方を述べ、参加者と共に学びを深めたい。

■主 催：学校法人浦山学園 [富山福祉短期大学 富山情報ビジネス専門学校 富山中央学院 中央予備校富山校 金沢中央予備校]

■後 援：富山県教育委員会 富山県PTA連合会 富山県高等学校PTA連合会 富山県私立中学高等学校協会 富山県小学校長会 富山県中学校長会 富山県高等学校長協会 富山県民間保育連盟 (社)富山県児童クラブ連合会 富山県保育士会 富山県私立幼稚園協会 (社)富山県専修学校各種学校連合会 (社)日本青年会議所富山ブロック協議会 (株)PHP総合研究所 北日本新聞社



学校法人 浦山学園

富山親学フォーラム運営委員会

〒939-0341 富山県射水市三ヶ613  
TEL(0766)55-3977 FAX(0766)55-3807  
http://www.urayama.ac.jp/  
E-mail:info@te.urayama.ac.jp